

2004年10月28日に大阪商工会議所にて第二回経営安定セミナー「不良債権と言われな  
いために」を開催しました。

商売が順調で返済が遅れていなくても、債務超過で負債が過大であれば、銀行から不良債  
権と査定されてしまいます。そうすると、新たな融資が借りられないばかりか、場合によ  
っては、担保の売却を迫られたり、あるいは債権がファンドに売却されたりといった事態  
に直面します。不良債権と言われなための予防策と、そうなったときの対応策を、整理  
回収機構（RCC）企業再生部出身の当社代表が講演しました。

#### ◆セミナー内容

##### 1. 趣旨

商売が順調で、返済が遅れていなくても、借入が過大であれば不良債権と見なされる。そ  
うならないための予防策と、不良債権（分類先）にされたときの対応策について

##### 2. 銀行が不良債権の処理を急ぐ背景

- ① 日本の金融界は、もともと護送船団方式と呼ばれ、裁量行政を旨とした。
- ② ところが、世界規模の市場経済に巻き込まれた(自由競争・グローバルスタンダード)。
- ③ 具体的には、大手銀行の自己資本は8%を要求され、また、ペイオフを実施することにな  
った。
- ④ ペイオフを実施するとなれば、預金者に対しては、銀行選択の判断基準として、銀行経  
営の中身を開示する必要がある（透明性を必要とされる）。
- ⑤ 自己査定制度(信用リスク制度)が創設され、あくまで(役所に調べられるのではなく)、  
自らの手で情報を開示することが必要になった（役所による検査は、事後確認）。
- ⑥ 不良債権が多ければ、その銀行はどうなるか？  
⇒不良債権の処理ができなければ市場の信任を得られない  
⇒預金は流出、金融市場でも資金を得られない  
⇒破綻

※長銀や拓銀は実質黒字だったと言われているが、金繰りがつかずに、破綻した。

##### 3. それでも不良債権は減らない

- (1) 理由1：銀行の対応が厳しくなった（借入手形の書き換えをしないなど）
- (2) 理由2：そもそも不良債権の定義が広がっている（延滞していなくても、不良債権）

##### 4. 自己査定の概要

債務者区分 <金融検査マニュアル>※、<債務者区分判定シート>※

※以上に関しては割愛させていただきます。

## 5. 不良債権の入り口

- (1) 要注意債権～幅広く抽出される。その銀行からの借入は継続できるが、借入金利が高くなる
- (2) 要管理債権～要注意先に対する債権のうち、リスク管理債権に該当する貸出金のことを指し、「3ヶ月以上延滞債権」と「貸出条件緩和債権」が該当する

## 6. 対策

- (1) (返済のための)追加融資を受けないこと（すぐに、また苦しくなる）
- (2) 決済資金がどうしても必要な場合には、別の銀行で借りた方が、借りやすい
- (3) 全面肩代わりを考えてみる（大手銀行⇒地方銀行⇒信金・信組）
- (4) 他府県地銀の大阪支店が狙い目
- (5) 外資系銀行も活用

いずれの場合も早めの対策が必要

## 7. 銀行の処理方法

- (1) ①直接償却、②間接償却、③バルクセール
- (2) バルクセール＝第三者への債権売却
- (3) 債権の額面ではなく、時価で取引される
- (4) DCF法（ディスカウント・キャッシュフロー＝割引現在価値）で評価する

来年の100円は、今、いくら価値があるか？

割引率を10%とすると、

$$\frac{100}{1 + 0.1} \approx 90.91$$

※なお、この10%は金利ではなく、利益やリスク率も勘案した数字

## 8. 企業再生を果たそう

- (1) 間違った対応1：お願いベースの交渉
- (2) 間違った対応2：金融機関特有のルールを知らない

## 9. 企業再生の条件

- (1) 企業再生先に選ばれよう
- (2) 企業再生(事業再生)の条件
  - ①誠実な債務者であり、再生に強い意欲を有しているか

- ②債権者（銀行）にとって、経済合理性があるか
  - ③当該事業に事業価値があるか
  - ④主要債権者やその他の債権者の同調が見込まれるか
  - ⑤経営責任・株主責任の明確化が可能か
  - ⑥地域経済への影響はどうか
- (3) 債務超過や借入れがいくらあろうとも、キャッシュフローが5千万円程度あると、周りの協力が得られやすい
- (4) 整理回収機構（=RCC）では、再生に法的整理も有り得るので、要注意

## 10. 企業再生の方法

- (1) 具体的方法→銀行から、単純に免除を得るのは不可能と知る
- 理由①：合理的な免除額を算出することが難しい
  - 理由②：公平性の問題
- (2) 債権買取をする場合
- ①自分で銀行調達する→○  
⇒貸し出し銀行にとっては、貸し出す時点では不良債権。従って、ひと工夫が必要
  - ②投資家に債権を買ってもらう→△  
⇒投資家が入ると、彼らの利益が上乘せされる
  - ③隠していた自己資金→×  
⇒絶対にダメ。債権を買い取りできないだけでなく、差押さえされることも

## 11. 整理回収機構の概要

以上